

ドイツ自動車メーカー・サプライヤーの カーボンニュートラル戦略とDX推進

サプライチェーンやエネルギーの課題続く中で脱炭素/DX戦略を維持

- ドイツ乗用車メーカーと主要サプライヤー各社のカーボンニュートラル化やソフトウェア強化に向けた戦略方針、事業変革を解説!!
- カーボンニュートラル化に向けた OEM とサプライヤーの協力関係、サーキュラーエコノミーにも配慮したサプライチェーン構築動向を分析!!
- エネルギーやサプライチェーンの問題、中国依存など、ドイツ自動車産業が複数の課題に直面しながら、グローバル競争力を維持できるかどうかを考察!!

● 発行：2022年10月予定 (編集上の都合により変更することがあります) ● 価格：~~198,000円(税込)~~→予約特別価格：180,000円(税込)、国内送料込 ● 体裁：A4判 約100頁 簡易カラー印刷
● 冊子版+報告会：予約特別価格 477,000円(税込、開催1回、プレゼン資料付、詳細は営業部 052-789-1101にお問合せください)

ドイツの主要乗用車メーカー各社とも、EU の車両 CO₂ 規制強化、将来的な ZEV 販売義務化を見据え、2030 年代にかけ BEV 販売比率を急速に高めていく方針です。各社とも、長期的には、BEV を中心にライフサイクル全体でのカーボンニュートラル化実現を目指し、必要な技術強化、サプライチェーン整備及び、カーボンニュートラルを前提とする事業体制への移行を進めています。

一方でロシアによるウクライナへの侵略により、ロシアからの天然ガス供給への依存の深刻さが浮き彫りとなりました。緊急措置として、石炭火力発電の継続による電力エネルギー確保に動いていますが、再生可能エネルギー供給を増強しても特に冬のエネルギー安定確保に課題が残ります。輸送車両及び工業のカーボンニュートラル化に向け、グリーンな水素の供給及び輸入を増やし、E フューエルの量産化に向けた取り組みを推進しています。新車販売 100%ZEV 化及び ICE 車販売禁止を目指す EU の方針に対し、ICE 車の CO₂ フリー化を実現できる E フューエル利用をサポートする何らかの制度の導入に向けた努力も続けられています。

ドイツ主要 OEM 各社とも、BEV 中心でライフサイクルカーボンニュートラル化の実現を目標にするとともに、BEV に内製の OS を実装し、OTA で車載機能を更新、拡張できる新たな機能やサービスを追加できる仕組みを確立することで収益をもたらすビジネスモデルの構築を目指しています。自動運転や、EV 航続距離延長につながる機能アップデート、各種デジタルサービスを提供することで、ユーザーの満足度向上につながる期待も込められています。各社とも、車両ソフトウェアや OS の内製強化を外部パートナーと協力しながら試行錯誤で進めています。オンラインセールスやデジタル生産なども含め、事業全体でのデジタルトランスフォーメーション (DX) を推進することで、コネクテッド BEV 販売中心での収益増大につなげる戦略です。

本報告書は、ドイツ自動車産業が、チャレンジングな事業環境下でカーボンニュートラル化と DX を推進しながら、いかにグローバル市場における競争優位性を維持できるか、あるいは競争力を強化できるかを考察する報告書となります。製品ライフサイクル化に向け BEV を最優先しつつ、産業界全体のカーボンニュートラル化を目指して水素や E フューエルをいかに活用していくかについても焦点を当てます。脱炭素を見据えたうえでエネルギー調達、原材料確保や技術開発において、ドイツ系及び欧州系のプレーヤー間の協業だけでなく、日本のサプライヤー、日系企業がパートナーとなってビジネスを強化できるチャンスが到来しています。OEM とサプライヤーの関係において、長期的なカーボンニュートラル達成に向け、従来のコスト優先とは異なるアプローチも重要と考えられます。当報告書をきっかけに、日本及び日系企業の関係各位が、ドイツ自動車産業への理解を深め、ドイツ系グローバル自動車企業とのビジネス関係構築及び強化につながることを心よりお祈り申し上げます。



目次 予定

序章 ドイツ自動車産業が直面する課題

- ・カーボンニュートラル化に向けたサプライチェーン再構築
- ・ロシアからのエネルギーへの依存、中国市場への依存
- ・原材料費高騰、部品調達支障
- ・ソフトウェア内製強化での試行錯誤

1章 ドイツ自動車産業の中長期戦略

- ・BEVを重視しつつ、Eフューエルの可能性を重視、工業脱炭素化に向けた水素利用、水素エンジンにも注目
- ・L3自動運転合法化、自動運転モビリティサービス、製造デジタルツインに向けた協調

2章 ドイツ主要乗用車メーカー各社の中長期戦略: VW、BMW、M-Benz

- ・カーボンニュートラル化戦略方針、BEVへの急速なシフト、代替燃料への取り組み
- ・DX推進、ソフトウェア開発強化、自動運転実現に向けた取り組み、モビリティサービスプラットフォーム戦略
- ・カーボンニュートラル化を見据えたサプライチェーン戦略、
カーボンニュートラル及びサーキュラーエコノミー前提での原材料調達

3章 主要Tier1サプライヤーの事業変革の概要: Bosch、ZF、Schaeffler、Continental、Vitesco、他

- ・OEMのカーボンニュートラル化とデジタル化に資する技術の強化
- ・主要Tier1各社の脱炭素化及びDX推進戦略

(編集上の都合により内容・掲載メーカー等は、追加・変更される可能性があります)

お申し込み方法と連絡先のご案内

FOURIN(フォーイン)のマルチクライアント調査報告書は、直販のみの取扱いとなっております。購入をご希望の方は、下記の申込用紙に必要事項を記入の上、郵便、Eメールまたはファックスにて、弊社まで直接お申し込み下さい。また、詳細な説明が必要な場合は電話にてお問い合わせいただければ、対応をさせていただきます。

世界自動車・部品産業の調査・出版



〒464-0025 名古屋市千種区桜が丘292 フォーインビル

TEL : 052-789-1101 FAX : 052-789-1147

https://www.fourin.jp E-mail : info@fourin.jp

申込書

- 「ドイツ自動車メーカー・サプライヤーのカーボンニュートラル戦略とDX推進」を申込みます。
予約特別価格: 税込180,000円(発刊前申込に限る)
- 冊子版+報告会: 当調査報告書の個別報告会(予約特別価格: 税込477,000円)を希望します。
個別報告会の詳細につきましてはフォーイン営業部052-789-1101にお問い合わせください。
- 「ドイツ自動車メーカー・サプライヤーのカーボンニュートラル戦略とDX推進」について詳細な説明を希望します。
・お申込みをご検討いただくため、フォーインの担当者が当マルチクライアント調査をオンラインコミュニケーションツール Microsoft Teamsや電話などで個別に説明します。

(株)フォーイン 行 フリーダイヤル Fax: 0120-0000-73

年 月 日

御社名

御利用部署名

〒

御住所 (送付先)

TEL 番号 FAX 番号

E-mail address

(フリガナ) 御担当者氏名 御役職

通信欄